

森や緑について考える



森や緑をどのように育てているのかな？

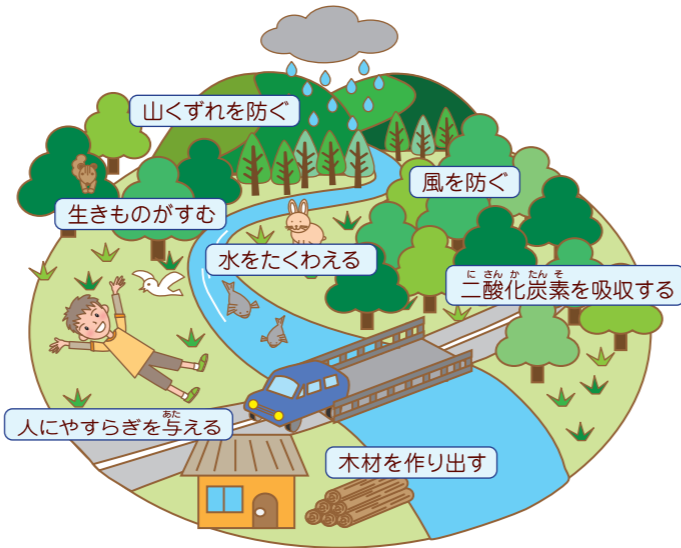
森と緑について、動画から学べるよ (福岡市環境局HP)

こちら→



森林の役割

森林は、多くの生きものがすみ場所であるとともに、わたしたちの生活を助けるさまざまな役割があります。木材や紙の原料になったり、水をたくわえたりします。また、土砂の流れる量を少なくしたり、山くずれを防ぎ農地や家を守ったりします。地球の二酸化炭素を吸収して地球温暖化を防ぐ働きもあります。



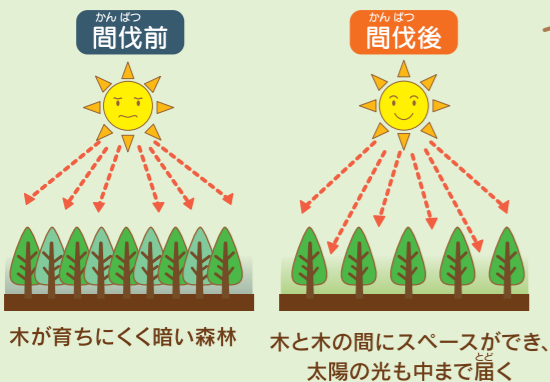
福岡市の森林の現状と課題

福岡市の森林面積は、約1万2千ヘクタールで市域面積の約3分の1を占めています。スギ・ヒノキなどの人工林が5千ヘクタール以上あり、その約80%が樹齢40年をこえ、木材として利用できる時期をむかえています。しかし、木材が高く売れないなどの理由から、収穫や手入れがされずに人工林が荒廃していく場合があります。

森林が持つさまざまな役割を保ちながら、次の世代へ引きついでいくためには、間伐による保全や、木材の利用を進めることで、森林をバランスのとれた状態にしていく必要があります。

間伐とは

木が大きくなり、となりどうしが重なり合ってきたとき、一部の木を切って葉を広げるスペースをつくることです。



福岡市の取組み

福岡市では、快適で豊かな市民生活を支える森林を次世代に残していくことを目指し、「みんなで守り・楽しみ・活かす都市・ふくおかの森づくり」に取り組んでいます。



▲荒廃した森林

▲再生した森林



福岡市農林水産局HP 「Fukuoka Green NEXT」

森林の保全・再生

手入れがなされず荒廃した森林やそのおそれがある森林の間伐を行い、バランスの取れた状態に保つ取組みを行っています。



福岡市農林水産局HP 「森林と林業を学ぶ読本」

スギ・ヒノキ人工林の広葉樹林化

花粉発生源対策とともに、多様な森林へ誘導するため、広葉樹への植替えを行っています。



▲植林の様子

松くい虫被害対策

松林を守るため、松くい虫による被害木の処分や薬剤散布などの対策を行っています。



▲薬剤注入の様子

木材の利用促進

学校や公民館などの建築物に木材を使うなど、木材利用を進める取組みを行っています。



▲照葉はばたき公民館・老人いこいの家 複合施設



福岡チャンネル 「伐って、使って、植える」 みんなで守り・楽しみ・活かす都市・ふくおかの森づくり



福岡チャンネル 「森や木について学ぼう」



福岡チャンネル 「森に囲まれた福岡市～木材利用の魅力～」

わたしたちにできること 森や緑を守るためにできること

できているものをチェックしよう

- おかしの箱などの雑がみもリサイクルに出そう
- よごれたときは、ティッシュペーパーではなく台ふきを使おう
- 森や木にふれて自然と親しもう
- 川の清掃や植樹などの自然保護活動に参加してみよう
- 森林の役割についてもっと調べてみよう
- 森林の循環利用である「伐って、使って、植えて、育てる」を調べてみよう。
- 森を守る活動をしている人の話を聞いてみよう
- 森林破壊について調べてみよう

【ねらい】森林は、土砂災害防止、水源のかん養、気候変動の緩和などの多面的機能を有し、市民生活に様々な恩恵をもたらすことを理解できるようにします。森林の大切さについて気づき、森林を守るために出来ることは何かを考えさせるようにします。